

令和元年度補正 重点分野・テーマ別の販売促進活動報告書

令和2年9月30日

JA全農インターナショナル(株)

令和元年度補正 重点分野・テーマ別の販売促進活動について、記1の補助事業を活用して記2のとおり実施したので報告いたします。

記1

令和元年補正輸出拡大が期待される分野・テーマ別の海外販路開拓等への支援強化事業のうち「重点分野・テーマ別の販売促進活動」

記2

対象国・地域 : 香港 (梨)

実施期間 : 令和2年 9月4日(金)～9月27日(日)

「香港 小売店舗 JA全農フェア」

1. 『香港 小売店舗 JA全農フェア』について

(1)実施期間 : 令和2年 9月4日(金)~9月27日(日)

(2)場所 : YATA super market, Park'n shpp supermarket、Don Don Donki

(3)出席者 : 全農インターナショナル香港有限公司 アンソニー担当

(4)内容 : 日本産青果物が定番化している上記スーパーにおいて、プロモーションを実施した。9月は二十世紀梨の出荷が本格化するため、二十世紀梨をコンテナ単位で輸出し上記店舗へ展開した。

(5)販売青果物
二十世紀梨(鳥取県産)、新甘泉梨(鳥取県産)

(7)着荷状況
すべての商品はほぼ良好であった







2. 所感

鳥取の二十世紀梨は、このシーズン短期間で大量に物量が動く傾向にあり、今年度も不作ではあったが、依然として青梨の人気は高く、物が少ないだけに引き合いは相当強かった。ただ、9月の中旬以降に出荷された商品については、青色が黄色に変色しているものも多く、量販店から多少、苦情が出た。ただ、前述のように不作傾向であったため、多少の色落ちは、許容してもらった。

3. 今後の進め方

今年度の反省を踏まえ、9月中旬以降の鳥取県産青梨出荷は、当該年産の状態を見ながら出荷を進めるかどうかを判断すべきものと認識。もしかすれば、産地リレーとして後作の青梨産地(長野など)とのリレーをするほうが、棚を継続確保できる可能性があるものと推察する。